

第 63 回京都府新型コロナウイルス感染症対策本部会議 議事概要

- 1 日 時 令和 4 年 2 月 18 日（金）午後 5 時 00 分から午後 5 時 15 分まで
- 2 場 所 京都府職員福利厚生センター会議室
- 3 出席者 知事、山下副知事、古川副知事、鈴木副知事、企画理事兼商工労働観光部長、危機管理監、知事室長、職員長、総務部長、文化スポーツ部長、健康福祉部長、京都府議会事務局長、教育長、警察本部長、山城広域振興局長、南丹広域振興局長、中丹広域振興局長、丹後広域振興局長、京都府新型コロナウイルス感染症対策専門家会議議長及び京都市危機管理監

4 議事録

【危機管理監】

- ・京都府新型コロナウイルス感染症対策本部会議を開催します。
- ・本日は、後ほど開催される政府対策本部の内容等を踏まえ、今後の対応について協議いただくこととしています。
- ・それでは西脇知事に会議の進行をお願いします。

【知 事】

- ・まずはこの間、1 日あたり 2000 人を超える新規陽性者が出ている中で、昼夜を分かたず、医療現場の第一線で御奮闘いただいております医療従事者の皆様に心から感謝を申し上げます。本庁をはじめ、保健所等の職員の皆様にも、非常に御負担をおかけしています。
- ・また、まん延防止等重点措置によって、府民、事業者の皆様にも、大きな御負担をおかけしています。この間の御協力に対しても、心から感謝を申し上げたいと思っています。
- ・2 月 9 日に、1 日あたりでは最大の 2996 人の新規陽性者を確認しています。若干感染の速度は減少していますが、引き続き高い水準で推移しています。本日の新規陽性者数は 2053 人、7 日間平均は 2029.57 人です。前週比は 0.79 倍ですが、非常に高い水準です。また、確保病床使用率は 7 割を超え、高度重症病床の使用率も 2 割を超えており、引き続き医療現場への負荷が続いています。
- ・やはりオミクロン株の感染力は極めて強いです。引き続き、警戒を続けていく必要があると思っています。
- ・さらに、2 月 15 日には、私から山際大臣に、直接まん延防止等重点措置の延長を要請したところ です。この後、政府対策本部が開催される予定です。延長が決定されることを前提に、今後の対応について議論したいと思っています。
- ・まず、最近の感染状況について、健康福祉部長から御報告をお願いします。

【健康福祉部長】

※資料 1 に基づき報告

【知 事】

・続きまして、まん延防止等重点措置の延長に伴う京都府の取組について、危機管理監から、事務局案の御説明をお願いします。

【危機管理監】

※資料 2 に基づき説明

【知 事】

・続きまして、入院療養体制の強化とワクチン接種の周知について、健康福祉部長から御説明をお願いします。

【健康福祉部長】

※資料 3 に基づき説明

【知 事】

・ここまでの説明について、専門家会議の松井議長から御助言をよろしくをお願いします。

【専門家会議議長】

・オミクロン株は重症化率が低いと言われていましたが、第 5 波を大きく上回る規模で感染が拡大し、重症化リスクの高い高齢者を中心に、重症患者が増えている状況です。病床の使用率が高くなることによって、感染者の緊急対応に遅れが生じ、通常医療にも影響が出ています。医療が必要な感染者は、重症患者を含め、感染の確認から遅れて症状が出ます。

・感染者数は現在、減少傾向に転じているものの、できるだけ感染者を減らすことが重要だと思っています。まん延防止等重点措置の継続に御理解と御協力をお願いしたいと思います。

・また、3 回目のワクチン接種によって、高い予防効果を得られることが分かっています。高齢者あるいは基礎疾患をお持ちの方に、積極的にワクチン接種を御検討いただきますようお願いしたいと思います。以上です。

【知 事】

・続きまして、京都市の三科危機管理監からよろしくお願いします。

【京都市危機管理監】

・感染者数自体は下降傾向ですが、非常に高い数字になっており、非常に危機感を持っています。高齢者については、基礎疾患の影響で死に繋がることがあり、非常に懸念しています。

・まん延防止等重点措置をベースに、全体として感染の波を抑える対策に取り組み、オミクロン株を意識した感染防止対策の徹底と、ワクチン接種の促進を併せて取り組むことによって、感染の波を抑え込めるようにしていきたいと考えています。

・感染した方への対応ですが、大多数が軽症、無症状である一方、基礎疾患をお持ちの方等、重症化

リスクのある方々が死亡する事例もあり、二極化していると言われていました。

- ・保健所は、的確に課題に対応していく必要があると思っています。保健所とは別に、無症状、軽症で自宅療養している方の相談、連絡を行う京都市の臨時フォローアップセンターを本日から運用開始しています。そして、保健所は、重症化リスクのある方への対応を重点的に担い、府の入院コントロール機能とも連携を図っていきたいと思っています。

- ・引き続き、正念場ですので、京都府とも連携を密に図っていきたいと思っています。よろしくお願いします。

【知 事】

- ・感染者数と重症化リスクのある高齢者、基礎疾患のある方が一定比率で増えていることについては、対応していかなければならないと思っています。

- ・また、京都市の現場も非常に大変だと思いますが、我々の入院医療コントロールセンターも含め、全体として重症化リスクのある方を的確な医療に繋げていくことを基本に据え、全体のコントロールをしていきたいと思っています。引き続き、御協力をよろしくお願いします。

- ・その他に、御意見等がなければ、事務局案によって、政府の決定を前提に、まん延防止等重点措置を3月6日まで延長し、取組を進めていきたいと思っています。その他に報告事項がなければ、本日の会議の総括を申し上げます。

- ・まずは、これまでの府民、事業者の皆様の御協力によって、前週比は1を切る状況になりましたが、非常に高い水準で推移をしています。医療提供体制については、感染者数が減ってからも、しばらく医療現場への負荷が増える状況です。引き続き、厳しい状況です。

- ・全体としては、大きな波を抑えながら、必要なところに対策を講じるということで、いずれにしても、もう少し波を抑えていかないと、またいつ繰り返すか分からないという状況ですので、今回延長をさせていただきます。府民の皆様等への呼びかけは私からしますが、2点についてお願いしたいと思っています。

- ・1点目は、今回、まん延防止等重点措置を延長するにあたって、引き続き、飲食店の皆様をはじめ、大きな負担をおかけします。丁寧な広報、説明をし、御理解のもとに、対策を進めていくようお願いします。

- ・2点目は、保育、学校の現場等において、職員、児童、生徒の感染で休園、休校が確定すると、それが家庭に波及し、社会機能の停滞に繋がります。また、リスクのある方が多い高齢者施設での集団感染を防ぐことは、命と健康を守る観点でも、非常に重要です。今回は、そうしたものをパッケージとしてお示ししました。

- ・関係部局におかれては、行動変容だけではなく、支援策等を含め、関係の施設等とも連携を取りつつ、感染防止対策が進むよう、丁寧な取組をお願いしたいと思っています。私からは以上です。

【危機管理監】

- ・関係の部局長におかれては、指示事項を踏まえ、万全の取組をお願いします。

- ・松井議長、三科危機管理監におかれては、お忙しいところ、御出席をいただき、誠にありがとうございました。

- ・以上をもって、対策本部会議を終了します。